

海田東地区新駅設置に係る実現可能性調査について

1 概要

令和４年度に実施した調査・検討内容をもとに，令和５年度においては，アンケート調査等の結果を踏まえ，改めて利用者予測を行うとともに，新駅の設置計画について，現地測量等により，更に詳細な検討を行い，設備計画の精度向上を図った。

2 調査業務（令和５年度）

- (1) 業務名：海田東地区新駅設置検討業務
- (2) 調査項目：①アンケート調査，②利用者予測，③測量調査，
④駅設備検討及び電気設備概略検討，
⑤駅前広場基本計画検討，⑥概算事業費 など
- (3) 調査費用：１７，８２０千円
- (4) 履行期間：令和５年５月２３日～令和６年３月２２日
- (5) 受注者：ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)

3 調査の概要

(1)アンケート調査

①アンケート調査回収状況・意向結果

・住民アンケート（１５歳以上）

配布数（部）	2， 0 0 0	アンケートの対象範囲
回収数（サンプル）	9 2 0	海田東地区新駅駅勢圏内 （半径 2 km圏内） ※山地， 安芸区除く
回収率	4 6． 0 %	
約 6 4 %が新駅を利用する意向		

・従業者アンケート

（新駅周辺の４企業・1 学校）

配布数（部）	1，４85
回収数（サンプル）	606
回収率	40．8％
約5３％が新駅を利用する意向	

・学生アンケート（中・高）

配布数（部）	1，４80
回収数（サンプル）	1，417
回収率	95．7％
約4７％が新駅を利用する意向	

②企業・学校へのヒアリング調査結果

項目		概要
現況の交通状況	通勤・通学・来	・海田市駅からの移動は主に自転車，徒歩
	訪者の交通手段	・社員の多くは自家用車利用 ・企業への来訪者は駅からタクシー利用等
新駅への意見	新駅設置への意	・通勤・通学，来訪者の交通利便性向上
	見・利点	・企業や土地の価値の向上 ・従業員・生徒の募集エリアの広域化
	新駅設置による 影響	・従業員・生徒の居住地変化の可能性 ・社員用駐車場（借地）の規模縮小の可能性

(2) 利用者予測

駅勢圏法による利用者推計をベースとし，アンケート調査結果（住民・従業者・学生）を反映の上で算定

【参考】

新規	転移	乗車人員
約 2,000 人	約 1,400 人	約 3,400 人

駅名	乗車人員 (R 4 年度)
海田市	8,243 人
瀬野	3,000 人
安芸中野	2,359 人
中野東	1,973 人
寺家	1,822 人
前空	1,719 人

※新駅の新規利用客数（約 2,000 人）は，中野東駅，寺家駅，前空駅よりも多い予測結果となっている。

(3) 駅設備検討及び電気設備概略検討

①新駅設備（案）【ホーム・駅舎】

項目		概要	備考
駅形態		2 面 2 線	線路線形，変更なし
乗降場	形態	相対式	
	幅員	有効幅員 2.5m (一部 3.0m)	寺家駅，和木駅
	長さ	8 両対応(165m)	現行の運行車両を考慮
駅舎設備		地平駅舎	南北に設置
		券売機，自動改札機	南北に設置
		トイレ	南側駅舎に設置
バリアフリー対応		自由通路整備 有効幅員 2.0m	エレベーター設置

②電気設備（案）

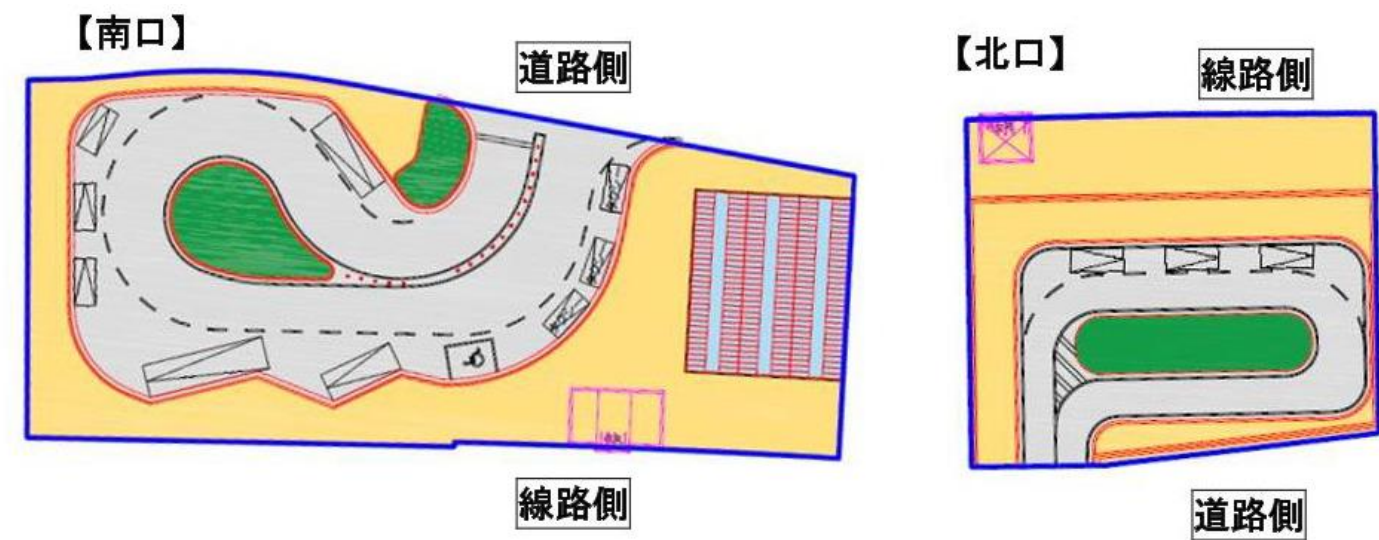
- ・電化柱 新設・撤去 約 4 0 本
- ・電車線 新設・撤去 約 7 0 0 m
- ・高圧ケーブル 新設・撤去 約 8 , 9 0 0 m
- ・中継信号機 新設・撤去 4 基
- ・信号ケーブル 新設・撤去 約 3 , 7 0 0 m
- ・通信ケーブル 新設・撤去 約 3 , 4 0 0 m ほか

(4) 駅前広場計画案の検討

駅前広場規模（案）

	南側	北側
整備面積	約 3,400 m ²	約 1,500 m ²
バス乗降場	乗降：2 バース ※1 バースは、 コミュニティバス用	
タクシー乗降場	乗降：3 バース	
自家用車乗降場	乗降：3 バース 身障者用：1 バース	乗降：3 バース
駐輪場	200 台	

◆駅前広場イメージ図



(5) 概算事業費

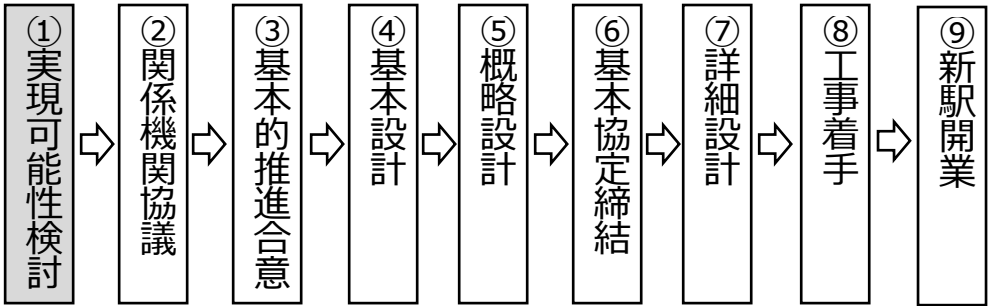
	事業費
新駅整備(案)【ホーム・駅舎】	約 2 2 億円～
駅周辺整備(案)【自由通路】	約 6 億円～
駅周辺整備(案)【駅前広場】	約 1 0 億円～
計	約 3 8 億円～

※用地・補償費用は含まない。

今後、物価上昇等により更に事業費が増える可能性がある。

4 事業手順

一般的な新駅開業の場合の主な流れについては、次のとおりである。



※R4, R5 は、網掛け部分の段階

5 実施に向けた今後の課題

(1) J R 西日本との協議過程での課題

- ・新駅整備と合わせた具体的なまちづくりの方策
- ・利用者予測精度の向上
- ・地形的な制約の中で新駅周辺の開発促進策（人口・新規利用者）
- ・新駅設置に伴う収益性
- ・新駅停車に伴う所要時間の増加による山陽本線のダイヤ等への影響確認

(2) 施設整備に向けた課題

・電気設備

各種電気設備の安全・効率的な施工方法の検討とコストの抑制

・架線の高さや離隔確保方法を踏まえた自由通路高さの設定

・用地狭隘箇所でのホーム上への電化柱建植方法の検討

・ケーブル移転の回数抑制の検討

・駅前広場

駅前広場の設備等の詳細検討